

平成 28 年度海外派遣 実習報告書

1153515M 13 神戸大学医学部医学科 6 年生 大橋倫子

〔実習先〕 シンガポール国立大学病院(NUH) シンガポール総合病院(SGH)

〔期間〕 4 月 4 日 (月) ~ 4 月 29 日 (金)



National University of Singapore A&E

4月4日(月)～4月15日(金)の2週間は、シンガポール国立大学病院(NUH)救急科で実習させていただきました。内科救急と外傷をバランスよく見学することができとても勉強になりました。救急部は8時から16時のデイトタイムシフト、16時から22時のイブニングシフト、22時から翌8時のナイトシフトの3つにシフトが分かれています、基本的にデイトタイムシフトでの実習でした。

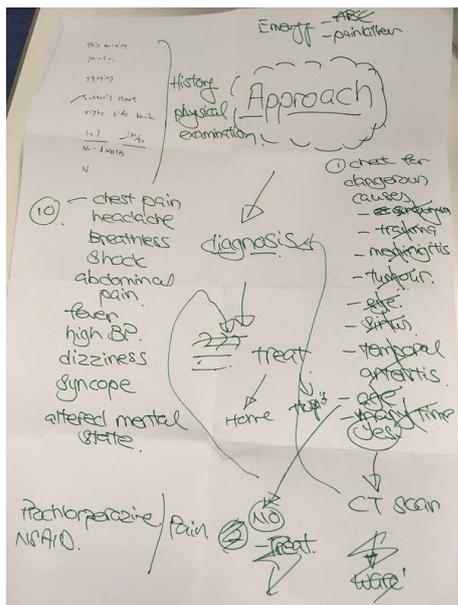
次々に運ばれてくる患者を先生と一緒に診察し、時間の空いた時には、胸痛やめまい、頭痛、呼吸困難など基本的な症候に対するアプローチの仕方、考え方について上級医の先生方にレクチャーしていただきました。その他にも、NUSの学生と一緒に1から患者への問診や身体診察を行いその情報を先生にプレゼンテーションしたり、頭痛の患者が来院したという設定で先生と模擬診察の練習をしたり、末梢ルートをとる練習をしたりと、5年生の救急実習ではできなかったような大変有意義な実習をすることができました。



NUSの学生と



指導医の先生と



レクチャー時の先生のメモ



NUH 正面玄関にて

Singapore General Hospital Dermatology

4月18日(月)~4月29日(金)の2週間は、シンガポール総合病院(SGH)の皮膚科で実習させていただきました。SGHはNUHと違いシンガポールの中心部にあり、ほぼ全ての診療科が揃う市中病院の中では最大規模の病院です。NUH以外の病院でも実習してみたいと思いこの病院を選びました。

皮膚科では毎朝8時からカンファレンスが行われ、入院患者についてディスカッションした後に回診を行います。また、午後14時からblue letterと呼ばれる他科併診専門の回診も行います。それらの業務に並行して、9時から外来診療が行われ、午前の外来が9時から12時ごろまで、午後の外来が14時から17時ごろまであります。

1週目は主に病棟回診blue letterを見学し、2週目は主に外来を見学しました。また毎朝のカンファレンスに加えて、月曜日のランチタイムにはレクチャー、水曜日のランチタイムには論文の抄読会、金曜日のカンファレンス後には症例報告があり、業務の見学以外にも学びの場がたくさんありとても充実していました。

特に興味をひかれたのは外来見学でした。疾患は乾癬やアトピー、薬疹や脱毛症などが多く、ダリエ病などの遺伝疾患や妊娠性痒疹なども見ることができました。逆に、多いのではないかと思っていた重篤な虫刺されや汗疹はあまり見るのがなく意外でした。また患者は若年層よりも圧倒的に高齢者が多く、先生方も、シンガポールの問題として高齢化をあげてらっしゃいました。シンガポールでは夫婦共働きの家が多いため、家族ではなくヘルパーに付き添われて来院する高齢の患者が多く、先生が家族に会ったことがない患者というのも少なからずいました。日本と同じ高齢化の問題を抱えつつ、日本との文化の違いがでて興味深かったです。

シンガポールで最も古い病院であるSGHは創立から195年の歴史があります。9つのBlockに分かれた病棟と、がんセンターや循環器センターなどの疾患センター、病院内を巡回するバスなどその規模に圧倒されました。近くのホーカー(フードコート)へのシャトルバスがでており、看護師さん等がそのままの服装で食事に出かけているのも印象的でした。



皮膚科の先生方・学生と

	AM		PM
Monday 18 April	8am Morning Briefing @ AC 4-1 Academia Level 4	HSC Reg Class 2	Lunch Time Scheduled Teaching (if any) 2 pm blue letters
Tuesday 19 April	8am Morning Briefing @ AC 4-1 Academia Level 4 Followed By Grand Ward Round	Inpatient Ward Round	2pm blue letters
Wednesday 20 April	8am Morning Briefing @ AC 4-1 Academia Level 4	Dr Kirsten Yeo Clinic 2	Lunch Time Scheduled Teaching (if any) 2pm blue letters
Thursday 21 April	8am Morning Briefing @ AC 4-1 Academia Level 4	Inpatient Ward Round	2pm blue letters
Friday 22 April	8am Morning Briefing @ AC 4-1 Academia Level 4	Inpatient Ward Round	Research/Academic

1週間のスケジュール



SGH から行けるホーカー



学生(左)と指導医の先生(右)と

おまけ Raffles Hospital A&E

夜にエスカレーターで転んで足を深く切
ってしまい、24 時間診療を行っているシン
ガポールの私立病院の救急にお世話になり
ました。この病院は私が実習していた 2 つ
の病院に比べ規模はとても小さいですが、
とてもきれいで落ち着いた雰囲気でした。
しかも日本人医師も何人か働いていて、シン
ガポール在住の日本人も多く通う病院で
す。シンガポールはお金持ちが多いのでこ
ういったプライベートホスピタルも数多く
あるそうです。内科も充実していて、漢方内科外来があるのが印象的でした。中華系の方が
多いので、シンガポールでは漢方内科の受診も多いのだそうです。良い病院に運ばれて本当
に良かったです。



生活

シンガポールは建物がどれも新しく、ゴミも落ちていない本当にきれいな街でした。また
食べ物が大変美味しく毎日とても幸せでした。
シンガポールの料理で一番美味しかったのはチキンライスでした。またマレー料理のラク
サも美味しかったです。毎日実習後はシンガポール大学の学生達とご飯を食べ、週末は観光
に出かけました。

シンガポールで訪れるべき場所として、シンガポール国立博物館をお勧めします。シンガ

ポール国立博物館は美しいコロニアル建築の建物で、シンガポールの歴史や文化について詳しく学ぶことができます。特に、第二次世界大戦中日本軍の占領下にあった頃についてとても深く掘り下げて展示がされており、日本軍が東南アジア一帯をどのように侵略し支配していたか、その頃の人々の暮らしはどのように過酷であったか、日本軍の支配の後どのように復興していったのかなど、とても深刻で恐ろしく、大変勉強になる展示ばかりでした。私は日本がシンガポールを占領していたことすら知らなかったもので、支配されていた側の国の歴史や当時の状況を初めて知ることができとても印象深かったです。反日的な展示ではなく、歴史的事実をそのとおりに展示しているような雰囲気なので日本人でも嫌な気持ちにはなりません。戦時以外にも、ヨーロッパとの交易の歴史や現在の発展までの道程などを映像や遊び心のあるモニュメントを用いて紹介しており、とても面白く訪れて本当に良かったと感じました。

よく学びよく遊び、とても充実した時間を過ごすことができました。実習を受け入れてくださった NUH・SGH の先生方、煩雑な手続きをたくさん手伝ってくださり相談に乗ってくださった学務課の三輪さん、そしてこのような貴重な機会を与えてくださった神戸大学、お世話になった全ての方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。



マーライオン



国立博物館



NUS の学生と食事



逆バンジー